

都留市通学路合同点検に基づく安全対策箇所一覧

【谷村第一小学校】

No	分類	路線名	住所・箇所名	通学路の状況・危険の内容	点検に基づく対策計画	事業主体	令和6年度以降の対策経過
1-1	新規	国道139号線	つる二丁目1535付近	交通量が多く、歩道の幅も狭いため、車両と接触の危険がある。	①既存グリーンベルトの延長	①国道管理者	①令和6年度対応予定
1-2	継続	側道古川渡東桂線	つる五丁目551付近	通勤時にスピードを出して走る車が多く危険である。	①安全教育指導 ②グリーンベルト、路面標示の設置	①学校 ②市道管理者	①令和6年度対応済み ②道路改良計画有り(時期未定) 施工時設置検討

【都留文科大学附属小学校】

No	分類	路線名	住所・箇所名	通学路の状況・危険の内容	点検に基づく対策計画	事業主体	令和6年度以降の対策経過
2-1	新規	県道都留道志線	小野416-12先・ローソン小野店先	朝の通学時間帯が通勤時間帯に重なり、道志方面・都留方面双方向からの車両の通行量が多く危険である。	①グリーンベルトの設置 ②路面標示の設置	①県道管理者 ②県道管理者	①令和7年度対応予定 ②令和7年度対応予定
2-2	継続	県道都留道志線	小野486付近・開地保育園付近	・登下校時に児童が道路を横断するが、道志方面から来る車からは道路の見通しが悪いため、児童の横断が死角になりやすく危険である。 ・児童が登校・下校時に横断するにも関わらず、横断に関する表示が道志方面からは錆びた標識しかない状況である。	①路面標示の設置	①県道管理者	①令和7年度対応予定

【東桂小学校】

No	分類	路線名	住所・箇所名	通学路の状況・危険の内容	点検に基づく対策計画	事業主体	令和6年度以降の対策経過
3-1	新規	市道蒼竜峡団地入口線	十日市場900・蒼竜峡団地周辺	・歩車分離となっているも、スピードを出してオーバーランしてしまう車もあり、接触の危険がある。地域の方も危険を感じ歩道にパイロンを数個置いてある状況である。 ・歩道が狭い上に、一本道のためスピードをだす車が多く危険である。	①グリーンベルト設置 ②ボールの設置	①市道管理者 ②市道管理者	①令和7年度対応予定 ②設置検討中

【宝小学校】

No	分類	路線名	住所・箇所名	通学路の状況・危険の内容	点検に基づく対策計画	事業主体	令和6年度以降の対策経過
4-1	継続	県道高畑谷村停車場線	大幡1662-1・岩埼橋付近	・変則5差路で緩い坂とカーブになっているため見通しが悪く危険である。 ・路面標示等の対応をとっているが、スピードを緩める車も少なく、児童が横断歩道を渡るのに時間を要している状況である。	①注意喚起看板の設置 ②安全教育指導	①教育委員会 ②学校	①令和6年度対応済み ②令和6年度対応済み
4-2	新規	市道栄町長者町線支線3号	厚原3・厚原自治会館付近	見通しの悪い4差路であり、児童が道路を横断するのに危険である。	①注意喚起看板の設置 ②安全教育指導	①教育委員会 ②学校	①令和6年度対応済み ②令和6年度対応済み

【禾生第一小学校】

No	分類	路線名	住所・箇所名	通学路の状況・危険の内容	点検に基づく対策計画	事業主体	令和6年度以降の対策経過
5-1	新規	県道四日市場上野原線	朝日馬場59-4・松木前バス停付近	当該危険箇所はスクールバス停留所となっている。冬季には付近の道路や橋が凍結する恐れがあり、スリップによる車両事故に巻き込まれることが予想され危険である。	①路面標示の設置	①県道管理者	①令和7年度対応予定
5-2	継続	市道井倉環状線	井倉394-4付近	河川側の道幅が狭く、朝の登校時には車両が東から西方面に進行する。登校する児童は東から進行する車両を確認しずらく、危険である。	①注意喚起看板の設置 ②安全教育指導	①教育委員会 ②学校	①令和6年度対応済み ②令和6年度対応済み

【禾生第二小学校】

No	分類	路線名	住所・箇所名	通学路の状況・危険の内容	点検に基づく対策計画	事業主体	令和6年度以降の対策経過
6-1	継続	市道古川渡田野倉線	田野倉1346付近	国道から来た車が中野方面に左折するときに児童との接触が予想され危険である状況。	①グリーンベルトの設置	①市道管理者	①令和7年度対応予定
6-2	新規	市道中野原昭和通り線	田野倉1277・田野倉団地付近	スピードを出した車が歩道寄りを走ることが多い道路である。路面の速度抑制の措置もしているが、朝は特にスピードを出して通行する車が多く危険である。	①断続的な交通指導取締りの実施 ②安全教育指導	①警察 ②学校	①令和6年度対応済み ②令和6年度対応済み